

稲作情報 No.8

〔6月26日水稻調査結果、大豆培土〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、JA経済連、主要農作物振興協会）

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/inasaku.html>

畦畔草刈り実践デー 2回目：7月5日（土）、6日（日）

斑点米発生防止のため地域ぐるみでカメムシの生息場所となる水田周辺の除草を行いましょ。ハナエチゼンでカメムシ類による斑点米が多いです。畦畔草刈りに加え大麦収穫後の雑草すき込みも行いましょ。

水稻

【農業試験場のコシヒカリの生育】（6月26日） 移植は13日から中干しを継続中、直播は16日から23日まで中干しを実施



圃場の外観

適期田植えコシヒカリ（5/20植え）



稲株の拡大（茎数平均30.1本/株）



圃場の外観

直播コシヒカリ（5/7播種）



稲株の拡大

（茎数792本/m²、9～10本/株）

- ・コシヒカリは草丈は平年より短いですが、茎数は平年を上回っています。特に直播は茎数過剰となっています。
- ・ハナエチゼンの草丈は平年並み、茎数は前年より少ない傾向です。25日頃から幼穂形成期を迎えています。
- ・中干しを適切に行い過剰生育を防ぎましょ。

【今後の栽培管理】

品種	今後の管理																							
<p>適期田植え コシヒカリ</p> <p>直播 コシヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗渠排水を利用して速やかな排水を心がける。 ・乳白や胴割粒の発生を防ぐための間断通水を収穫直前まで行えるようにする。 ・中干し期間は幼穂形成期直前までだが、<u>降雨が少ない時は適宜入水して田面のヒビが大きくなりすぎないように注意する。</u> <p>【葉いもち防除】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防粒剤を施用していないところは葉いもちの発病に注意する。 ・圃場を見回り、発病している場合は治療効果のある薬剤を散布する。 ・直播は、移植に比べて稲体が軟弱で細い茎が多くなり、葉いもち等の病虫害が発生しやすいので注意する。 <p>【直播コシヒカリの中期深水管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年茎数が急速に増加する圃場において中期深水管理を実施している圃場では9葉期（7月上旬）まで水深を10cmに保つ。 			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">中干しの程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強い</td> <td>地力のある湿田、生育が旺盛な圃場</td> </tr> <tr> <td>弱い</td> <td>乾田</td> </tr> <tr> <td>間断通水程度</td> <td>地力のない砂質浅耕田</td> </tr> </tbody> </table>			中干しの程度		強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場	弱い	乾田	間断通水程度	地力のない砂質浅耕田										
中干しの程度																								
強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場																							
弱い	乾田																							
間断通水程度	地力のない砂質浅耕田																							
<p>移植 ハナエチゼン 【幼穂形成期迎えた】</p>	<p>【幼穂形成期以降の水管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>間断通水を励行し、根に水分と空気を供給する。土壤水分が不足すると窒素の吸収が抑制され肥効が劣ることがある。</u> ・入水側だけでなく排水側の乾燥程度も確認しながら水管理を行う。 <p>【穂肥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分施体系の施用基準 			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">穂肥1回目の目安</th> <th colspan="3">N施肥量(kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>幼穂長</th> <th>出穂前</th> <th>葉色</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>(3回目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2mm</td> <td>25日</td> <td>4.5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>(1)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・葉色が基準よりも淡い場合は1回目の穂肥量を増やす。例年に比べ株が小さい場合も穂肥量を増やす。 ・2回目は1回目の10日後に2回目穂肥を施肥する。1回目穂肥施肥後5～7日経過しても葉色が淡いままのときは、2回目をやや早くする。 ・基肥一括施肥で、幼穂形成期から10日くらい経過しても分施体系のものよりも葉色が淡いままの場合や株が小さい場合は、<u>出穂期10日前～14日前に施肥して葉色を濃くする。</u> <p>【カメムシ防除】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、早生でカメムシ類による斑点米が多い。 ・畦畔草刈りや大麦収穫後の雑草すき込みなど、薬剤散布に加えて地域ぐるみで総合的に防除を行う。 			穂肥1回目の目安			N施肥量(kg/10a)			幼穂長	出穂前	葉色	1回目	2回目	(3回目)	1～2mm	25日	4.5	2	2	(1)
穂肥1回目の目安			N施肥量(kg/10a)																					
幼穂長	出穂前	葉色	1回目	2回目	(3回目)																			
1～2mm	25日	4.5	2	2	(1)																			
<p>移植 あきさかり</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中干しを継続する。過剰分けつは倒伏するので注意。 <p>【病害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場を観察し、葉いもち、紋枯病、白葉枯病に注意する。 																							
<p>移植 イクヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼穂形成期まで中干しを継続する。 																							

【病害虫等の発生状況と対策】

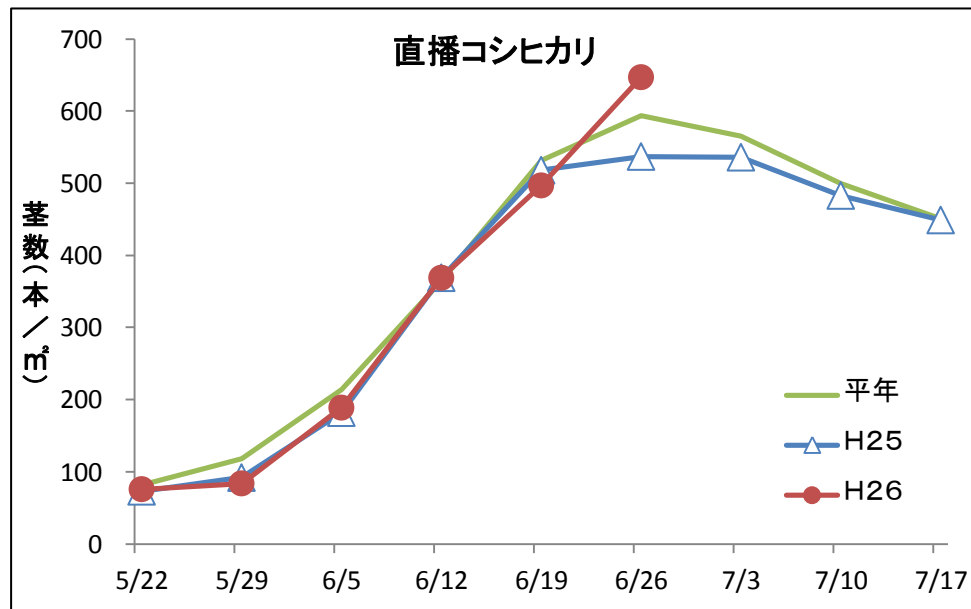
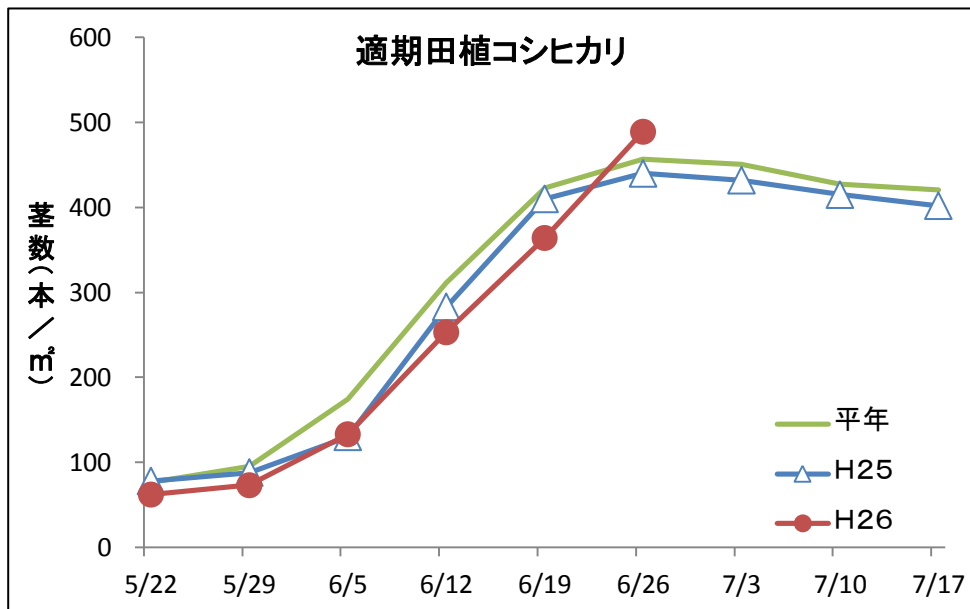
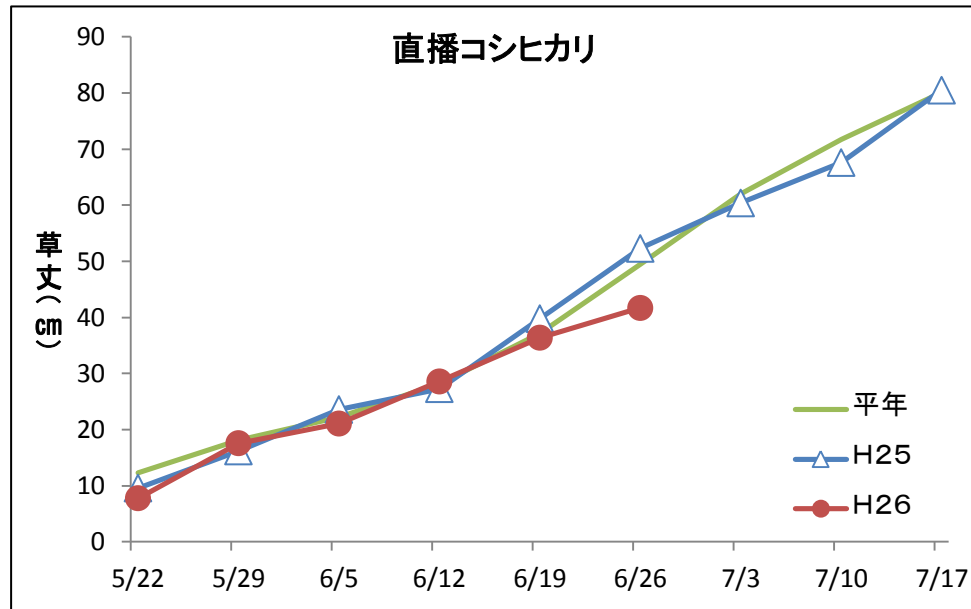
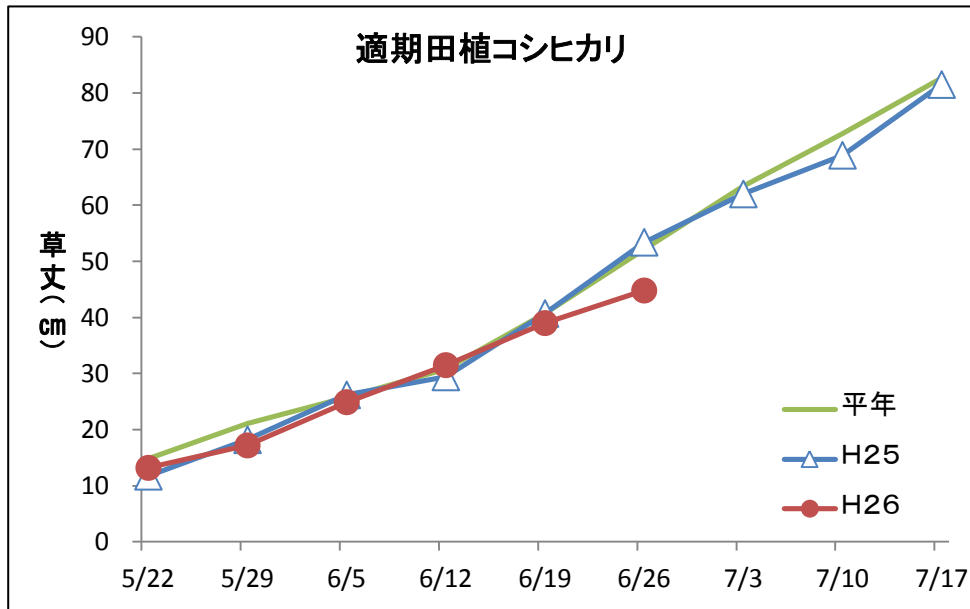
病害虫	発生状況と対策																																																																																																																																															
<p>葉いもち</p>	<p>【発生状況】 BLASTAM（ブラスタム）によるいもち病の感染好適条件出現状況 （●感染好適条件日 ○準好適条件日） ・6月15日以降は感染好適条件等はほとんど出現していない。</p> <p>【対策】 ・予防粒剤の苗箱施薬や本田散布を行っていないもの、常発地、適期田植えや直播栽培、生育が旺盛で葉色が濃く葉が垂れているもの、などで特に注意して観察する。 ・圃場を見回って、発病を見つけたら治療効果のある薬剤を散布し蔓延を防ぐ。 ・ケイ酸質資材は稲体を硬くしていもち病菌の侵入を抑制する効果があるとされている。最高分けつ期頃（今週）に施用する。</p> <table border="1" data-bbox="1396 219 1968 594"> <thead> <tr> <th></th> <th>6/12</th> <th>6/13</th> <th>6/14</th> <th>6/15</th> <th>6/16</th> <th>6/17</th> <th>6/18</th> <th>6/19</th> <th>6/20</th> <th>6/21</th> <th>6/22</th> <th>6/23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三国</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>春江</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>越廼</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>福井</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>勝山</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大野</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>今庄</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敦賀</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>美浜</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小浜</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	三国	●	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	春江	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	越廼	●	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	福井	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	勝山	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	○	大野	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	今庄	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	敦賀	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	美浜	●	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	小浜	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23																																																																																																																																				
三国	●	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
春江	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
越廼	●	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
福井	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
勝山	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																				
大野	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
今庄	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
敦賀	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
美浜	●	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
小浜	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																				
<p>紋枯病</p>	<p>【対策】 ・紋枯病が発生した圃場では、菌核が残っており次作の伝染源となる。前年に発生があった圃場では、必ず防除を行う。 ・早生、短稈品種では被害が大きくなりやすいので注意する。</p>																																																																																																																																															
<p>カメムシ類</p>	<p>【発生状況】 ・カメムシの発生量は平年より非常に多い。 ・雑草地の他、転作田跡（大麦や牧草の刈取跡）にカスミカメ類の発生が多い。</p> <p>【雑草対策】 ・斑点米カメムシ類の密度を抑えるために、早生の出穂10日前までに圃場周辺の除草を行う。 ・大麦作跡圃場に生えた雑草にカメムシが相当数確認されている。耕耘するなどの雑草対策を行う。 そば作付予定圃場でも排水を考慮してごく浅く耕耘する。 畦畔草刈り実践デー：2回目：7月5日（土）、6日（日）</p>																																																																																																																																															
<p>その他</p>	<p>【除草】 ・雑草の取りこぼしがある場合は、発生している草種にあわせ、中期除草剤や後期除草剤を使用する。</p> <p>ヒエ クリンチャー1キロ粒剤（湛水散布）、ヒエクリーン1キロ粒剤（湛水散布）、ワンステージ1キロ粒剤（湛水散布）、クリンチャーEW（落水散布）</p> <p>広葉雑草 バサグラン液剤（落水散布）</p> <p>ヒエ+広葉雑草 クリンチャーバスME液剤（落水散布）、ヒエクリーンバサグラン粒剤（ごく浅く湛水して散布）、ワイドアタックSC（落水散布）</p> <p>クサネム ノミニー液剤（落水散布）</p> <p>・除草剤の使用にあたっては、使用基準（使用時期、使用量、成分ごとの使用回数、散布方法、水管理方法等）を必ず守る。</p>																																																																																																																																															

【生育調査結果】

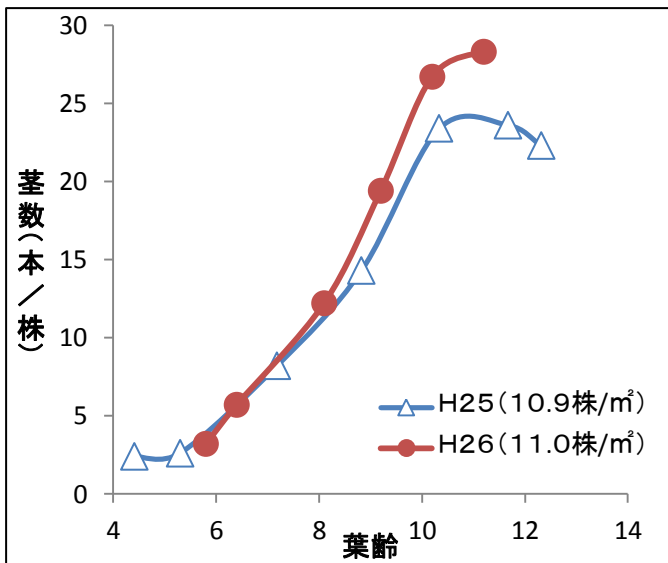
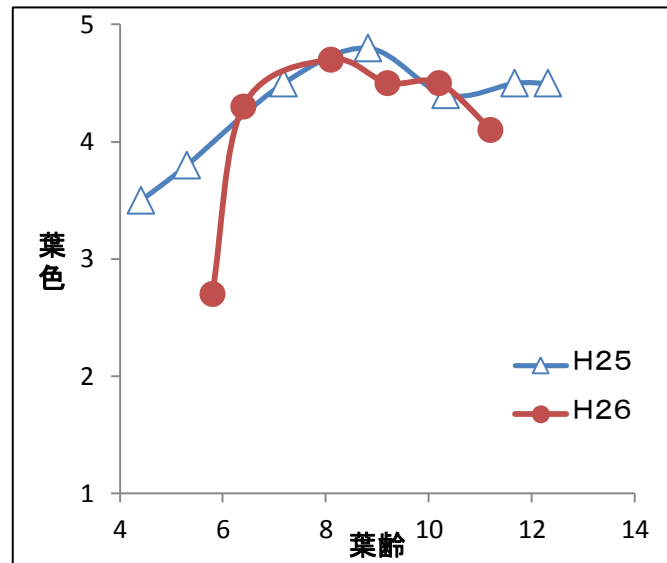
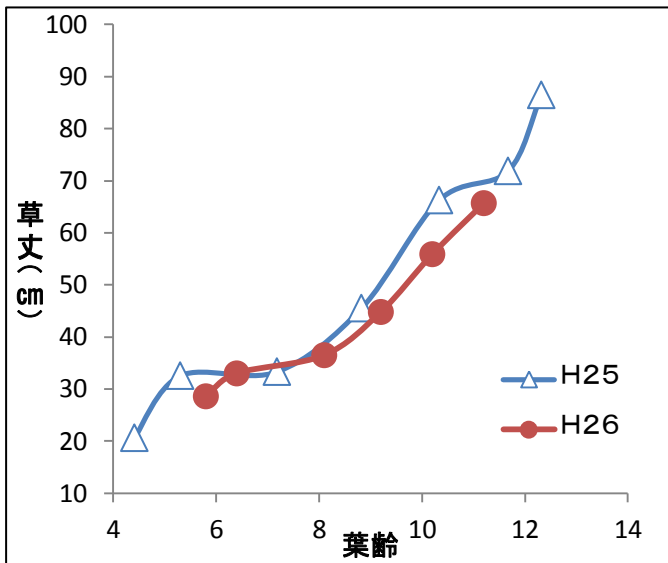
調査日：平成26年6月26日

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/1	移植 5/1	移植 5/20	直播 5/7	移植 5/15	直播 5/8	移植 5/16	直播 5/2	移植 5/20	直播 5/5	移植 5/2	移植 5/15	移植 5/11
草丈 (cm)	本年	64.5	58.5	43.9	45.9	44.4	50.7	40.2	45.0	41.9	43.1	41.7	59.3	45.6	39.8
	平年	56.9	57.5	44.1	52.1	50.2	53.2	45.4	52.7	50.4	49.1	50.9	54.9	51.7	52.1
茎数 (本/株) (本/m ²)	本年	34.7 722	27.5 500	23.5 419	30.1 626	792	25.0 455	413	28.0 498	696	24.9 415	647	38.3 797	28.5 519	32.2 485
	平年	29.4 612	27.8 525	27.5 515	24.3 505	633	25.2 471	554	25.0 454	613	24.8 466	603	32.6 678	27.4 521	28.9 497
葉齢 (枚)	本年	10.7	10.7	9.5	9.3	9.3	9.2	8.2	9.1	8.9	8.9	8.8	10.6	9.3	9.1
	平年	10.9	10.8	9.7	10.0	8.9	9.7	8.8	9.3	9.0	9.5	9.0	10.8	9.6	10.7
葉色 (葉色 板)	本年	4.4	4.3	4.8	4.7	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.3	5.0	4.8	4.9
	平年	4.4	4.3	4.6	4.4	4.2	4.3	4.5	4.3	4.4	4.7	4.3	4.7	4.8	4.7
幼穂 形成期	本年	6/25	6/25												
	平年	6/28	6/28	6/28	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/12	7/15	7/10	7/14	7/10
出穂期	本年														
	平年	7/20	7/17	7/18	8/3	8/8	8/2	8/8	8/1	8/4	8/1	8/4	8/3	8/8	8/1

【コシヒカリ生育経過】



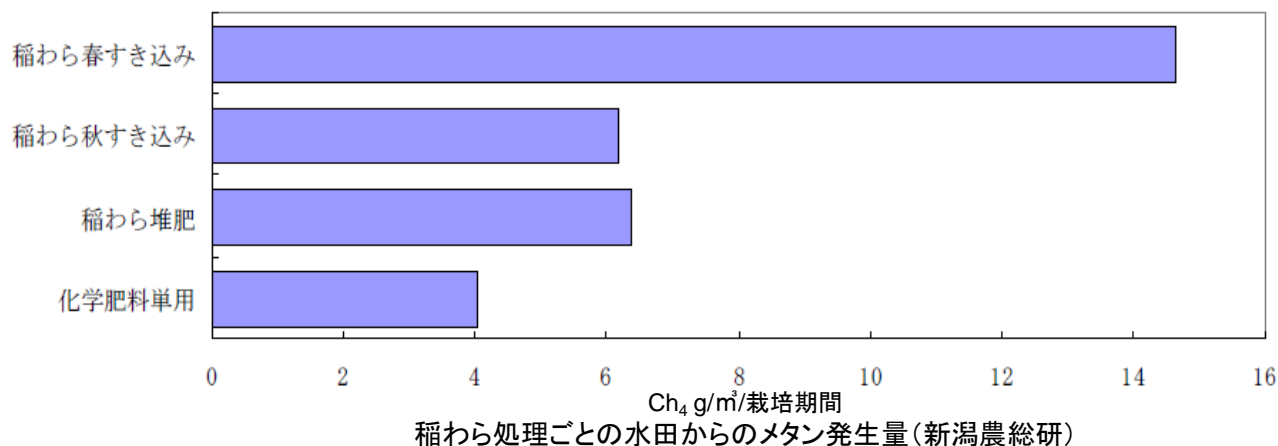
【有機肥料コンシカリ生育経過】 福井市の栽培事例



調査点: 福井市深見町
 苗: みのる式、育苗日数30日
 施肥: 米ぬかと油粕を主体としたボカシ肥料、発酵鶏ふん、シリカ21など
 この水田では除草剤を1回使用

初期生育が悪かった圃場ではガスが発生していませんか

- 苗質はよかった、施肥量は計算どおり、なのに初期生育が悪かった。そのような圃場の中を歩いた時ガスがブクブクと出てきませんか。
- わらを晩秋から春先にかけてすき込むと、田植えまでに稲わらが十分腐熟しません。
- その場合、生育初期に急激にわらの腐熟が進みます。それに伴い、わらの分解作用と水稻の吸収との間で施肥窒素の奪い合いがおこり、まだ根が十分伸びていない苗は窒素を十分吸収できません。
- さらに有機酸の生成も影響して苗が生育抑制を受けます。根腐れの要因となる硫化水素やメタンガスも発生します。
- 稲が遅できになる上に下位節間が伸びる6～7月に窒素が放出されて倒伏しやすくなってしまいます。
- 稲わらは収穫後早めにすき込んでわらの腐熟を促進しましょう。



稲わらを秋にすき込むことにより、分けつ期の土壌の異常還元が抑えられ、地球温暖化ガスであるメタンガスの発生や根腐れの原因である硫化水素などの発生を抑制する。

秋の田起こしでおいしい米づくりを！

秋の田起こし運動を本年から始めます。早めに稲わらをすき込んでわらの腐熟を促進しましょう。

作業

作業の注意点

培土・中耕

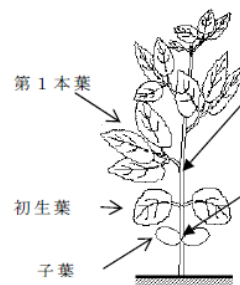
【培土・中耕の効果】

- ①畝立てをして排水性を向上する。山の形が重要で株元が低い形状では水がたまってしまう。
- ②地中に入った茎から新根（不定根）が出る。この根の発生時期は播種後20～35日にあたる6月下旬から7月中旬であり、7月中旬までに培土を終える。株元を土が覆うことで根を十分発生させられる。土塊が大きいと根が発生しないので雨上がりなど土壌水分が高い時は作業しない。
- ③播種後の除草剤の効果は約1か月で消えるので中耕で除草できる。排水不良などで初期生育が悪いと雑草が多くなる。
- ④土が膨軟になって通気性がよくなり根粒の活性が高まる。通気性がよく湿った土が株元を覆うことで根が多く発生し根粒の発生や活性化につながる。
- ⑤株元が支持されて倒伏を軽減する。

【培土・中耕の時期と程度】

- ・2回実施を基本とする。梅雨時期の作業となり実施のタイミングが難しいが、大豆の生育に対して作業時期が遅れないように留意する。

	時期	程度
1回目	6月下旬 本葉3～4葉期	子葉が隠れる程度
2回目	7月上旬 本葉5～6葉期	本葉第1葉節まで

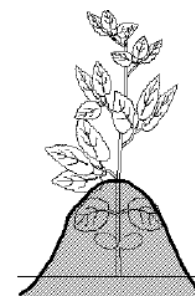


培土2回目は、
第1本葉節まで

培土1回目は、
子葉節まで



1回目培土



2回目培土

- ・圃場周りの枕地部分で培土を行うと額縁明渠へのスムーズな排水を妨げる。培土後に枕地の畝を数箇所切って排水性を高める。高温乾燥期の畝間かん水の実施にも役立つ。
- ・排水不良や播種期が遅く生育量が小さい場合は、培土時に窒素で5kg/10a程度の追肥をする。



作業	作業の注意点			
除草	【生育期に使用できる除草剤】			
	使用時期		除草剤名	10aあたり使用量
	茎葉処理イネ科雑草3～5葉期	収穫60日前まで	ワンサイドP乳剤	75～100ml
	茎葉処理イネ科雑草3～8葉期	収穫30日前まで	ナブ乳剤	150～200ml(イネ科雑草3～5葉期)
				200ml(イネ科雑草6～8葉期)
	茎葉処理イネ科雑草3～10葉期	収穫30日前まで	ポルトフロアブル	200～300ml
	茎葉処理 (イネ科を除く、雑草生育初期～6葉期)	収穫45日前まで 大豆2葉期～開花前まで	大豆バサグラン液剤	100～150ml
	雑草茎葉および土壌処理 (雑草草丈15cm以下)	収穫30日前まで 大豆3葉期以降	ロロックス水和剤	100～200g
	畝間処理(雑草茎葉処理)	収穫28日前まで	バスタ液剤	300～500ml
	畝間処理 (雑草茎葉処理、雑草の草丈30cm以下)	収穫3日前まで	プリグロックスL	600～1000ml
<ul style="list-style-type: none"> ・大豆バサグラン液剤は、あやこがねに薬害が強く出ることがあるため使用を避ける。 ・株間処理剤(雑草茎葉および土壌散布)として、ロロックス水和剤が使用可能。 ・狭畦密植無培土栽培は大豆が条間を早く覆って抑草するのがねらいだが、排水不良等により大豆の初期生育が不足すると雑草が多発するので、除草剤を適切に使用する。 ・除草剤の使用にあたっては、使用基準(使用時期、使用量、成分ごとの使用回数、散布方法、水管理方法等)を必ず守る。 				

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

NO	地名名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一級産	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あむのこ伊井	ハナエチゼン	移植	坂井平
45	坂井農機二級産	ハナエチゼン	移植	坂井平
54	坂井農機二級産	コヒナカ	移植	坂井平
56	福井一級産	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	坂井二級産(産)	コヒナカ	直播	坂井平
112	坂井二級産(産)	コヒナカ	直播	坂井平
58	坂井農機一級産	あきさかり	移植	坂井平
113	坂井農機一級産	コヒナカ	直播	坂井平
70	福井二級産(産)	コヒナカ	移植	高丹平
71	福井二級産(産)	コヒナカ	移植	高丹平
72	福井二級産(産)	コヒナカ	移植	高丹平
73	福井二級産(産)	コヒナカ	移植	高丹平
74	三級一級産(産)	コヒナカ	移植	坂井平
75	丸岡二級産(産)	コヒナカ	移植	坂井平
86	福井二級産	あきさかり	移植	高丹平
116	丸岡一級産	ハナエチゼン	移植	坂井平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

【天気予報】

6月27日5時発表

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

日付	27 金	28 土	29 日	30 月	1 火	2 水	3 木
福井県	曇時々晴 ☁️🌞	曇のち一時雨 ☁️🌧️	曇一時雨 ☁️🌧️	曇時々晴 ☁️🌞	曇時々晴 ☁️🌞	曇時々晴 ☁️🌞	曇時々晴 ☁️🌞
降水確率(%)	~/10/30/30	10/30/30/60	50	30	30	30	30
信頼度	/	/	C	B	A	B	C
最高(℃)	31	28	29 (27~31)	30 (28~32)	31 (28~33)	32 (28~35)	30 (28~33)
最低(℃)	/	21	21 (19~22)	20 (19~22)	21 (20~22)	21 (19~22)	22 (20~23)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス